

8回生 安永治郎さん (佐賀市出身)



悩みを抱えた人を救う仕事。

～親しみやすさを求めて～

幼少期から見てきた職業 ～弁護士へ

高校2年生のときに、読書感想文で全国1位を取りました。目立っていい成績だった訳ではないですが、大学には指定校推薦で行きました。勉強以外で突き抜けたことがよかったのだと思います。

私の父も祖父も弁護士の仕事をしていて、私で3代目になります。小さいときから無意識に憧れの気持ちを抱いていました。それで、大学に入るときには弁護士になることをほぼほぼ決めていました。

弁護士の仕事は人々の生活の法律上のトラブルを解決することです。例えば、お金や家族(離婚・相続など)について。人と人の喧嘩の仲裁というよりは、誰かの味方になってその人の権利の保護をします。トラブルによる悩みや不安から人々を救うこと…そこに弁護士の使命があると考えています。

弁護士という職業を より身近な存在に。

弁護士は敷居が高い仕事というイメージを持つ人も多いと思いますが、そんなことはありません。法律は人を幸せにするものだと考えています。弁護士は使いやすいということを知ってもらうことで、トラブルが早く解決するようになってほしいです。

そのため、毎年「高校生模擬裁判選手権」という、次世代を担う若者に実際の法廷を体験してもらうプロジェクトにも取り組んでいます。模擬裁判を通して、法律家の仕事を知り、その考え方を体感してもらうこともこのプロジェクトの目的の1つです。この大会の準備は通常の業務と並行して行っているのですが、大変ではありますが、大会に参加して裁判を経験した高校生たちの充実した笑顔が私にとっては何よりのご褒美です。

- 1994年 4月 弘学館高校入学
- 1997年 3月 弘学館高校卒業
- 1997年 4月 中央大学法学部入学
- 2001年 3月 中央大学法学部卒業
- 2008年 4月 中央大学法科大学院入学
- 2010年 3月 中央大学法科大学院修了
- 2010年 9月 司法試験合格
- 2011年 12月 弁護士登録

(2019年9月現在)



模擬裁判選手権の様子

安永治郎さんのとある一日

- 9:00 始業
- 10:00 裁判に出席(裁判所)
- 12:00 昼休み
- 14:00 依頼人と打合せ
- 16:00 裁判に出席
- 17:00 弁護士会の会議に出席
- 18:00 書類作成
- 20:00 帰宅

後輩へのメッセージ

弁護士を目指す人は、いろんなタイプの仕事があるので、自分はどの分野で働きたいのか、より具体的にイメージしてください。また、大学でしなければいけないこと(将来像)をイメージすることや行動力も必要です。私たちが皆さんに法教育を通して学んでほしいのは、結論を求めるためにどういうプロセスや理由が必要か考えることです。やりたいことを示すときに理由があると説明しやすくなります。理由を考える癖をつけて自分の考えを持ち、流されない自分になってください。